



災害時に必要と考えられる**消毒薬**の適切な使用法について

環境・器具・物品・排泄物に使用する消毒薬

製品分類 | 次亜塩素酸ナトリウム
【丸石製品名】 | 【次亜塩素酸Naフォーム】

雑貨品

■使用できる消毒・除菌範囲

医療施設等の環境表面・器具・物品(トイレの手すりや便座、床等)の除菌・洗浄

■使用方法

- ①スプレーノズルのレバーを回して「泡」を△印に合わせて下さい。
- ②約10cm離して対象物に直接スプレーするか、もしくは布等にスプレーして清拭した後、必ずしっかり拭き取るか流水で洗い流して下さい。
- ③使用後はスプレーノズルのレバーを回して「閉」を△印に合わせて下さい。

<使用量の目安>

20平方センチメートル当たり1回スプレー(0.8mL)

■主な注意点

- 体調がすぐれない方や、心臓病・呼吸器疾患等の方は使わないでください。
- 使用時に必ず保護メガネ、ゴム手袋等を着用し、換気の良い場所で使用して下さい。
- 1度に大量に使用したり、続けて長時間使用しないで下さい。
- 酸性の洗浄・漂白剤、アルコール製剤、シアヌール酸系の製品等と混合(併用)すると有害な塩素ガスが発生して危険ですので避けて下さい。
- 人体には使用しないで下さい。
- 本剤は希釈せず、原液のまま使用して下さい。
- 肩より高い位置で使用しないで下さい。



製品容器表示はこちら >

製品分類 | アルコール消毒剤
【丸石製品名】 | 【ウエルセプト®高頻度接触面消毒用】

一般用医薬品(第2類)

■使用できる消毒・除菌範囲

家具・器具・物品等の消毒、室内・便所・浴室の消毒、医療機器の消毒

■使用方法

布片等に浸して対象物を清拭する。
もしくは対象物に直接噴霧した後、布片等で清拭する。
(使用方法:使用時は噴霧口を回して「霧」又は「直」に合わせて使用し、使用後は「閉」にすること。)

■主な注意点

- 人体や食品に噴霧しないこと。
- アルコールに弱い人、アレルギー症状やかぶれ等を起こしやすい体質の人は、噴霧薬液に触れたり、吸い込んだりしないこと。
- 皮膚に付着した場合は、発疹・発赤、かぶれ等を起こすことがあるので、すぐに水で洗い流すこと。
- 十分に換気し、ゴム手袋、マスク等を着用の上、噴霧薬液を吸い込まないように注意して使用すること。なお、気分が悪くなった時は直ちに使用を中止すること。
- 目に入らないように注意すること。万一、目に入った場合には直ちに水又はぬるま湯で洗い流すこと。なお、症状が重い場合は眼科医の診療を受けること。
- 服用しないこと。万一、誤って飲んだときは多量の水を飲ませること。



製品容器表示はこちら >

製品分類 | 次亜塩素酸ナトリウム
【丸石製品名】 | 【ミルクボン®】

一般用医薬品(第2類)

■使用できる消毒・除菌範囲

- ①哺乳びん・乳首の殺菌消毒
- ②医療器具の消毒、器具・物品などの消毒(食器なども)
- ③室内・便所・浴室の消毒
- ④排泄物の消毒

■使用方法

- ①哺乳びん・乳首を洗った後、本品の80倍液(0.0125%)に1時間以上浸します。
- ②十分に洗浄した後、本品の20~50倍液(0.02~0.05%)に30分間~1時間浸すか、清拭します。
- ③本品の20~50倍液(0.02~0.05%)で清拭します。
- ④本品の1~10倍液(0.1~1%)を用います。

■主な注意点

- 本品は飲まないで下さい。
- 小児の手のとどかない所に保管してください。
- 本品を取扱う時は、ゴム手袋などをご使用ください。
- 本品の使用により、手の荒れ、発疹・発赤、かゆみ等の症状があらわれた場合には、使用を中止し、医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。
- 本品は内服しないでください。また、誤って飲み込んだ時は、すぐに水・生卵・ミルク等を飲み、医師に相談してください。
- 目に入らないよう注意してください。目に入った場合には、こすらずにすぐに水又はぬるま湯で十分に洗い流してください。なお、症状が重い場合には、眼科医の診療を受けてください。
- 定められた用法・用量を厳守してください。(排泄物の消毒時以外は、原液での使用を避けてください。また、熱湯での希釈はさけてください。)
- 換気の良い場所で使用してください。
- 哺乳びんに付着したミルクなどの有機物は、消毒前に十分に洗い落してからミルクボン溶液につけてください。
- 哺乳びん等は浮かないようにミルクボン溶液に沈めて下さい。
- 酸性の洗浄・漂白剤、シアヌール酸系の製品と混合すると有毒な塩素ガスが発生して危険ですので混合しないでください。
- 金属製・木製の器具・物品(スプーン等)は、変質することがあるので使用しないでください。
- 調製後、ミルクボン溶液が変色した場合、その水での調製を避けてください。
- 直射日光をさけ、なるべく湿気の少ない涼しい所に密栓して保管してください。
- 誤用をさけ、品質を保持するため、他の容器に入れかえないでください。
- 衣類、金属製の指輪等につくと脱色、変色することがありますので、注意してください。
- 本品は殺菌消毒する対象物によっては印刷面、材質などを変色(変質)させる場合がありますので注意してください。

※使用できる消毒・除菌範囲、注意点、使用方法の詳細は製品容器表示等をご参照下さい





災害時に必要と考えられる消毒薬の適切な使用法について

手指の消毒薬

手指・皮膚の消毒薬

製品分類 | エタノール含有擦式手指消毒薬
【丸石製品名】 | 【ホームウエルバス®・ウエルビュア®・ウエルセプト®・ウエルフォーム®】

製品分類 | エタノール含浸綿
【丸石製品名】 | 【エタプロコール®コットン】

一般用医薬品(第3類) / ウエルフォームのみ第2類

一般用医薬品(第3類)

■使用できる消毒・除菌範囲

手指の消毒(製品により表現は異なります)

■使用できる消毒・除菌範囲

手指・皮膚の消毒、医療機器の消毒

■使用方法

- ①薬液を適量手掌にとります(使用量は製品・包装により異なります)。
- ②指先に液を浸します。
- ③手掌によく塗り広げます。
- ④手の甲によく塗り広げます。
- ⑤指の間を交差させます。
- ⑥親指に塗り伸ばします。(製品により表現は異なります)

■使用方法

そのまま塗擦、清浄用として用いる。

■主な注意点

- 手指の皮膚の治療を受けている人は使用しないでください。
 - 損傷のある皮膚、目の周囲、粘膜等には使用しないでください。
 - 本品の使用により、手の荒れ、発疹・発赤、かゆみ等の症状があらわれた場合には、使用を中止し、医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。
 - 用法・用量を厳守してください。
 - 小児に使用させる場合には、保護者の指導監督のもとに使用させてください。
 - 目に入らないように注意してください。万一、目に入った場合には、すぐに水又はぬるま湯で洗ってください。なお、症状が重い場合には、眼科医の診療を受けてください。
 - 血液や汚物等が付着している場合には、石けんでよく洗浄し、石けん分を十分洗い落とした後、使用してください。
 - 内服しないでください。
- (製品により表現、内容は異なります)

■主な注意点

- 粘膜や創傷面には使用しないで下さい。
- 次の人は使用前に医師又は薬剤師に相談すること。
 - ①医師の治療を受けている人。
 - ②本人又は家族がアレルギー体質の人。
 - ③薬によりアレルギー症状を起こしたことがある人。
 - ④患部が広範囲の人。
 - ⑤深い傷やひどいやけどの人。
- 本品の使用により、発疹・発赤、かゆみ等の症状があらわれた場合には、使用を中止し、医師、薬剤師に相談すること。
- 長期連用する場合には医師又は薬剤師に相談すること。
- 目に入らないように注意すること。万一、目に入った場合には、すぐに又はぬるま湯で洗い、直ちに眼科医の診療を受けること。
- 過度に使用すると、脱脂等による皮膚荒れを起こすことがある。
- 広範囲又は長時間使用する場合には、蒸気の吸入に注意すること。
- 小児に使用させる場合には、保護者の指導監督のもとに使用させること。
- 外用にのみ使用すること。
- アルコール分がたん白質を凝固させ、内部にまで浸透しないことがあるので、医療用具等を清拭する際は血清膿汁等を十分に洗い落としてから使用すること。
- 薬液の蒸発を防ぐため、開封後はすみやかに使用すること。又、容器のフタを必ず閉めること。

ホームウエルバス®の製品容器表示はこちら >

ウエルセプト®の製品容器表示はこちら >

ウエルビュア®の製品容器表示はこちら >

ウエルフォーム®の製品容器表示はこちら >

皮膚の消毒薬

製品分類 | 殺菌消毒薬用石けん液
【丸石製品名】 | 【グリンス®αフォーム】

製品分類 | 殺菌消毒薬用石けん液
【丸石製品名】 | 【グリンス®α】

医薬部外品

医薬部外品

■使用できる消毒・除菌範囲

皮膚の清浄・殺菌・消毒

■使用できる消毒・除菌範囲

皮膚の清浄・殺菌・消毒、体臭・汗臭を防ぐ。

■使用方法

本品を適量手に取り、よく泡立てて、皮膚の洗浄に使用したのち、洗い流す。

■使用方法

適量の水又はぬるま湯で泡立てた後皮膚を洗浄し、水又はぬるま湯で洗い流す。

■主な注意点

- 湿疹、皮膚炎(かぶれ、ただれ)等の皮膚障害があるときには、悪化させるおそれがあるので使用しないこと。
- かぶれたり、刺激を感じたときには、使用を中止すること。
- お肌に合わないとき即ち次のような場合には、使用を中止すること。そのまま使用を続けると、症状を悪化させることがあるので、皮膚科専門医等にご相談されることをおすすめします。
 - ①使用中、赤味、はれ、かゆみ、刺激等の異常があらわれた場合
 - ②使用したお肌に、直射日光があたって前記のような異常があらわれた場合
- 目に入ったときは速やかに流水でよく洗い、医師に相談すること。

■主な注意点

- 湿疹、皮膚炎(かぶれ、ただれ)等の皮膚障害があるときには、悪化させるおそれがあるので使用しないで下さい。
- かぶれたり、刺激を感じたときには、使用を中止して下さい。
- お肌に合わないとき即ち次のような場合には、使用を中止して下さい。そのまま使用を続けると、症状を悪化させることがあるので、皮膚科専門医等にご相談されることをおすすめします。
 - ①使用中、赤味、はれ、かゆみ、刺激等の異常があらわれた場合
 - ②使用したお肌に、直射日光があたって上記のような異常があらわれた場合
- 目に入ったときは速やかに流水でよく洗い、医師に相談してください。
- 子供の手の届かないところに保管して下さい。
- 直射日光を避け涼しいところに保管して下さい。

製品容器表示はこちら >

製品容器表示はこちら >

*使用できる消毒・除菌範囲、注意点、使用方法の詳細は製品容器表示等をご参照下さい